

RIFCR™ 研修会のご案内

主催：北海道子ども虐待防止協会道南支部、函館中央病院

共催：函館小児科医会

後援：函館性暴力被害防止対策協議会

子どもから性虐待を疑うような行動・言動が見られたとき、性虐待被害を打ち明けられたとき
子どもから適切に話を聴くことは、虐待環境から救い出すために
絶対に欠かせないステップです。

重要なのは初めの聴き取りで「聴き過ぎない」こと。

なぜ初めの聴き取りで聴き過ぎてはいけないのか、聴き取りの際どのようなことに
気を付けなければならないのかを知っていただくのが RIFCR™ 研修です。

○プログラム内容

- * 子どもは性虐待をどのように経験するのか
- * 虐待を打ち明けるプロセス
- * 子どもの性的発達
- * 日本の児童保護制度
- * RIFCR™(リフカー)プロトコル

R = Rapport
I = Issue Identification
F = Facts
C = Closure
R = Reporting

○日時： ①2020 年 6 月 13 日(土) 9:00～18:00 (昼食休憩 1 時間)

②2020 年 6 月 14 日(日) 8:30～17:30 (昼食休憩 1 時間)

※いずれか 1 日。受付は 15 分前より。

○会場： 函館中央病院 南棟 8 階 講堂

○定員： 各日ともに 40 名

※先着順で、定員になり次第こちらから連絡します。

○会費： 10,000 円(予定)

○お申込み方法： 裏面の申し込み用紙を用いて、FAX にてお申込みください。



RIFCR™ 研修で、子どもを守る手段を学びませんか？

お問い合わせ先：函館中央病院 医療福祉相談室(田中・岡田・藤井)

〒040-8585 北海道函館市本町 33 番 2 号 TEL:0138-52-1231 Fax:0138-51-2069



認定NPO法人チャイルドファーストジャパン (Child First Japan:CFJ) ChildFirst Japan Project (CF-J事業)



◇ ChildFirst™ プロトコル ◇

幼い子どもや障害のある子どもにも適用できるようにとコーナーハウスが開発したRATAC(Child First)プロトコル(RATAC: Ratatouille Protocol)を、米国児童保護研修センター(NCPTC)が改良して、性虐待だけでなく、身体的虐待やネグレクト、DVや犯罪の目撃にも汎用性を求めたのがChildFirst™プロトコルです。

◇ 司法面接とは？ ◇

欧米で1980年代から開発が進んできた面接技術であり、児童虐待の中でも立証の難しい性虐待について、被害を受けた子ども本人から事実確認をする手法です。

性虐待を受けた子どもは、児童福祉司、警察官、検察官、裁判官など多くの職種に対して、つらい体験を何度も話さなければならず、そのたびにトラウマを再体験させられ、深刻な心理的ダメージを受けることになります。

多機関が連携して行う司法面接を取り入れることにより、そうした「二次被害」から子どもたちを守ることができるようになります。

- ◆チャイルドファースト・ジャパンでは、RATAC®プロトコルを基本としつつ、NCPTC(National Child Protection Training Center)が新しい知見を盛り込んで独自に開発したChildFirst™司法面接プロトコルを研修していくこととなりました。ChildFirst™プロトコルは、性虐待だけでなく、身体的虐待やネグレクト、DVや犯罪の目撃といった、子どもたちが経験した事実を聴取すべき事案すべてに適用できる内容になっています。
- ◆また、「何らかの人身被害を受けたかもしれない」と疑われるお子さんから、通告に必要な最小限の情報を聴き取る技法「子どもを守るバズルの1ピースとして 子ども虐待に対応する～RIFCR™(リフカー)研修～」を開催しています。
- ◆子どもたち誰もが「自分は愛されている」「守られている」と感じ、安心して暮らせる社会づくりを目指します！

ChildFirst™(チャイルドファースト)司法面接研修

◇ ChildFirst™ (チャイルドファースト) とは？

ChildFirst™ は、米国児童保護研修センター (National Child Protection Training Center) 以下NCPTC) が実施している子どもの司法面接研修プログラムです。参加者が多職種専門家からなる多機関連携チームの構成をとり、面接技術の習得だけでなく性虐待、児童虐待問題に対する正しい知識を得、他職種の機能を互いに理解して、子どもたちを第一に考えて問題の解決に協力して取り組んでいく司法面接実践のあり方に対する理解を深めます。

◇ ChildFirst Japan (CFJ) とは？

NCPTCから正式に認定を受けたトレーナーチームです。児童福祉司、医師、弁護士、臨床心理士、精神保健福祉士、社会福祉士といった多職種専門家によって構成されており、これまでも数回実施した研修を受けた研修内容が日本の現状に沿ったカリキュラムで研修を行います。

◇ ChildFirst Japanの司法面接研修は、

◆アジェンダ: 「効果的な面接」「多機関連携アプローチ」「性虐待の力動」「打ち明けのプロセス」「子どもの発達」「ChildFirst™プロトコル」「医学的診断」「刑事訴訟」「日本の児童保護制度」など。
5日間(40時間)全日出席していただく必要があります。

◆対象職種: 児童福祉司・児童心理司等 児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、子どもの弁護士、被害者、子どもの権利擁護センターとしての機能を担っている機関(大学・医療機関・子ども虐待防止NPO職員(福祉連携等・司法関係の業務を担う者)等) 他 研修受講者もMDT(多機関連携チーム)の構成で受講していただきます。

◆実施方法には、以下の2つがあります。
【出前型研修】地方自治体や各種団体からのお申し込みに対し、トレーナーチーム(ファカルティ)が現地に赴き、研修を実施します。
【センター型研修】神奈川県伊勢原市に設立された『子どもの権利擁護センターかながわ』で開催する司法面接研修にご参加いただけます。予定はホームページに掲載いたします。
※個人でのお申し込みも可能ですが、どちらの団体、機関に所属され、MDTのメンバーとして活動できる方が対象となります。

子どもを守るバズルの1ピースとして 子ども虐待に対応する RIFCR™ (リフカー) 研修

◇ RIFCR™ (リフカー) とは？

子どもの周囲にいる大人が、性虐待・身体的虐待・ネグレクト・DVの目撃等、人によっては隠しづらい経験をしたことが疑われる子どもに対してどのように面接し、何を聞くべきで、何を聞くべきでないかということを手順化した面接プロトコルです。

◇ RIFCR™ がもたらす効果

- ①学校や幼稚園、保育園、病院などで、子どもから虐待について打ち明けられたときや虐待を疑うような言動が子どもに見られたとき、どのような情報をどのように聞いて通告すべきかについて子どもにやさしい方法を学べます。
- ②児童相談所や警察など、性虐待の通告・通報を受ける機関の職員は、司法面接を行う際の段階で子どもからどのように話を聞くべきなのか、通告受理後、学校などの現場で初めて子どもに会ったときどうすべきか、その後の司法手続きにマイナスにならないための注意点を学べます。
- ③子どもから虐待被害について打ち明けられることは、周囲の大人にとってもショックなことです。こうした場面でも子どもたちにどのような対応をすればよいのかについて具体的な知識により、学校や児童福祉の現場の閉塞感や無力感を減らし、適切な通告・通報へとつなげ、子どもたちを迅速に救うことができます。
- ④子どもに何度もつらい思いをさせることなく、通告・通報に必要な最低限の事実だけを聞きとり、子どもの負担を最小化することができます。
- ⑤プログラムには、性虐待を受けた子どもに関する基礎的なカリキュラムが他にも含まれており、性虐待被害児に関する理解を深めることができます。
- ⑥RIFCR™を理解することにより、司法面接や性虐待被害児診療の必要性に関する認識を高めることができます。

◆対象: 市区町村の職員、小中学校の養護教諭、民生児童委員、保育士、幼稚園教諭 他、子どもと接する機会のある全ての方。

◆実施方法には、以下の2つがあります。
【出前型研修】地方自治体や各種団体からのお申し込みに対し、トレーナーチームが現地に赴き、研修を実施します。
【センター型研修】東京もしくは横浜で開催します。予定はホームページに掲載いたします。

◇ コーナーハウス ◇

チャイルドファースト・プロジェクト「子どもの福祉を最優先に」を基本理念として1989年にミネソタ州ミネアポリスに設立された子ども虐待評価・研修センター。合衆国の代表的な子どもの権利擁護センターで、RIFCR™プロトコルを開発するなど性虐待対応に積極的に取り組んでいます。

RIFCR™ プロトコル

R=Rapport (話のできる関係を築く): 安心して話を聴く。話を聴く。話の内容によっては、ほかの人に伝えるかもしれないことをあらかじめ子どもに伝える。

I=Issue Identification (問題点の特定): 心配や疑問したことを伝える。

F=Fact (事実確認): 「何が事実なのか」「それをしたのは誰か」についてのみ尋ねる。

C=Closure (終結): 子どもを安全に帰す。通告すること子どもに伝える。

R=Reporting (通告): 電話で通告後、報告書を送る。

お問い合わせ

認定NPO法人 チャイルドファースト・ジャパン
〒259-1132
神奈川県伊勢原市伊勢原 1-5-31 チェリーヒルズ
金田 2階 3号室
電話 0463-90-2715
FAX 0463-90-2716
<http://cmjp.childfirst.or.jp/>

函館 RIFCR™ (リフカー) 研修会 申込書 Fax 番号: 0138-51-2069

ふりがな お 名 前	ローマ字表記
連絡先ご住所	
電 話 番 号	※携帯電話など、昼間に連絡できる番号をお願いします
所 属 ・ 職 業	
希 望 日 時	ご希望日に○をつけてください。 ① 6月13日(土) ② 6月14日(日)

上記内容をご記載の上、Fax で送信ください。お申し込み締め切り日以降はがきで受講票を送付します。

締め切りは **2020年5月29日(金)**です。

6月13日(土)のみ研修会終了後に講師の先生方を囲んで懇親会を予定しております。ご参加ご検討下さい。